

令和4年5月10日

## 眉丈台地自然緑地公園の利活用に関する サウンディング型市場調査の結果について

眉丈台地自然緑地公園は、自然豊かで広大な敷地が魅力である一方、経年による施設の老朽化や再整備に多額の費用がかかること等多くの課題を抱えています。羽咋市では、公園をより魅力あるにぎわい空間とするための今後の公園整備や管理運営方法について、直接民間事業者の皆様から、民間参入の可能性や事業アイデアを調査・把握するため、事業実現に向けた課題等に関するご提案やご意見を求め、個別対話を行いましたので、その結果を公表します。

参加事業者の皆様から、さまざまなご意見・ご提案をいただきましたが、各事業者のアイデア・ノウハウなど知的財産保護の観点から詳細については公表を差し控えており、今回公表する内容については、参加事業者から了承を得たものとなっています。

### 1 調査の経過

- ①実施要領の公表 : 令和4年1月14日(金)
- ②意見・提案の受付 : 令和4年1月14日(金)～2月18日(金)
- ③個別サウンディング : 令和4年2月21日(月)～3月31日(木)  
(対面または Web 形式)

### 2 参加事業者 7 法人 (法人名は非公表)

### 3 主な意見

対話事項	主な意見概要
①施設の整備・運営方法のアイデアや可能性	
公園の利用方針、土地利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"><li>・キャンプ施設、グランピング施設としての利用。</li><li>・四季折々の美しい景観を感じることができる公園。</li></ul>
新規及び再整備を行う公園機能、整備費用等	<ul style="list-style-type: none"><li>・グランピング施設の整備。</li><li>・オートキャンプ場の整備。</li><li>・子どもの城を含めた老朽化した施設・遊具等の撤去。</li><li>・トイレの改修及びシャワー設備の整備。</li></ul>
さくら広場(土砂 約14,000㎡有り)の整備・活用について	<ul style="list-style-type: none"><li>・グランピング施設の整備。</li><li>・オートキャンプ場。</li><li>・花々の植樹。</li></ul>
民間活用の可能性について	<ul style="list-style-type: none"><li>・季節ごとの自然を感じてもらう「自然体験活動」。</li><li>・植樹整備、キャンプ機能の拡充や、自然を活かした体験学習などに民間事業者のノウハウを活用し、維持管理費用の低減やサービスの向上などに努め、公園の魅力向上に伴い、賑わいを創出するための様々な事業を実施。</li><li>・現時点では、立地的にも既存公園の魅力としても、厳しい。</li><li>・民間活用は可能と考えるが、投資をしてまで活用できるかは疑問。</li><li>・web との連携を実施。</li></ul>

新たに設置可能と考えられる民間収益施設、投資規模等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランピング施設、カフェ、コンテナハウス。</li> <li>・アウトドア系施設。</li> <li>・現時点では判断できない。</li> </ul>
事業実現に向けた課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入が少ないこと、対象面積が広すぎるのが問題。</li> <li>・投資額の算定。</li> <li>・支出に対する投資効果の算出。</li> <li>・12月から2月まで閉館するのは人を雇用する面で難しい。</li> <li>・広大な敷地の維持管理(内容、範囲)。</li> <li>・冬季期間の活用方法。</li> <li>・長期的な公園づくりでは、結果がみえてくるまでに相当の時間を要し、行政だけでなく、市民、事業者、市民団体、企業、学校などの様々な主体との連携・協力が必要。</li> <li>・将来のよりよい環境整備や持続可能な公園づくりを目指すために、老朽化した施設を随時、解体・撤去するなどの判断や財源が必要となる。</li> </ul>
<b>②事業条件</b>	
望ましい事業条件（事業方式、事業範囲、事業期間、スケジュール）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Park-PFI 事業補助を受けることが必須である。</li> <li>・PFI 等の事業方式（事業期間10～20年）が望ましい。</li> <li>・PFI とした場合に準備に2年は必要。</li> </ul>
<b>③関心度合</b>	
本事業への参画の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業収支に見合う予算が確保されないと厳しい。</li> <li>・参画します。</li> </ul>
事業実施にあたり市へ期待する支援や配慮して欲しい事項について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①Park-PFI 事業補助→②公募設置等指針作成業務委託（サウンディング調査含む）→③事業者選定、の流れが良い。</li> <li>・市の方針を都度お伝えいただき協議の上進めて行きたい</li> <li>・長期的な将来像を見据えた公園づくりのための財源確保、仕組みづくり。</li> <li>・看板、サイン等の設置。</li> <li>・施設名の検討。</li> <li>・地域との連携強化。</li> <li>・県外へのPR活動。</li> <li>・公共施設の再編に伴う、公共施設整備による誘導。</li> </ul>
<b>④その他自由意見について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を利用するために、市が先行整備として多額の事業費を投資した上での提案や、自然や環境への配慮がなされていないレジャー系の提案は可能と考えるが、そのような計画では豊かな自然や立地特性などを十分活かすことができないと考える。</li> <li>・新たなサービスの創出や付加価値を与えるためには、他にはない公園づくりが求められ、即効性・特効性のある方策が民間事業者から提案されない場合は、長期的な事業展開を見据えた判断もよいアイデアである。</li> <li>・近年のアウトドアブームを受け、土地と施設を有効的に活用し必ず全国的にも話題性のあるエリアに改修する。</li> </ul>	